

# 校長だより あおすげ

令和5年7月20日号

校長 竹内 重幸

## <7月全校集会・1学期終業式>

7月 全校集会・1学期終業式  
あおすげ

➤ チャレンジするすばらしさを!  
「すすんで学ぶ子」

➤ 読書貯金のすすめ

学ぶとは?

「学問ノススメ」  
天は人の上に人を造らず  
人の下に人を造らず

「学問ノススメ」  
賢人と愚人の別は、**学ぶと  
学ばざるとによって出来るもの**なり。

日本中の人に  
勇気を与えた本

チャレンジした学び

幼稚園の入園式  
おおきな声で「はい」

声でいじめられるようになる  
人とはなすのがこわい  
だれともしやべらなくなる

悪いことをかばって  
いたら、ますます悪  
くなる。  
声を出すようなクラ  
ブ活動に入りなさい。

勇気を出して  
チャレンジ!  
放送研究部に入る

大山のぶ代  
・ドラえもんの声

すすんで学ぶ子

あそぶ 失敗する  
スポーツ 仲直り  
歌う 手伝い

➤ 力をあらたに身につけ、その力を使って、あらたな世界を広げるということ

➤ すてきな人になるために人は勉強し続けるべき

➤ 学ぶことをやめたら、人間でなくなる

すすんで学ぶ = 真剣に生きる

本日、7月の全校集会を体育館で、1年生から6年生までが集って行うことができました。

今月の話の中心は、「あおすげ」の「す：進んで学ぶ子」としました。

「1万円札の肖像画に福沢諭吉が選ばれた理由は？」と話を進めました。まず、身分制度が当たり前の江戸時代に、人の価値は平等であることを世に知らしめたことの意義の大きさを伝えました。その後、「賢い人と愚かな人の差は、学ぶか学ばないかで決まる」と話し、「誰でも学ぶことで賢くなれる」と知った当時の日本人は、みんな勇気づけられたことを伝えました。「学ぶ」ことは、辛いことを我慢して頑張ることと言うよりは、自分の魅力を広げること、自分の味方を増やすことだと福沢諭吉は言っているように感じます。

そして、「学ぶこと=チャレンジ」と話し、大山のぶ代さんの生き方を紹介しました。概要は、声にコンプレックをもち、いじめられていた時に、母親に勇気をもって、学びを深め、ドラえもんの声優役を勝ち取ったというものです。

最後に、遊ぶことも、スポーツをしたり歌ったりすることも、手伝いをすることも「学び」と伝えました。そう考えると、目指す児童像の「進んで学ぶ子」は、「一所懸命・真剣に生きる」ことに行きつくと考えます。目指す児童像の奥深さを改めて感じるとともに、教育活動を充実させ、目指す児童像に近づけるよう、学校・家庭・地域が持てる力を結集していくことの必要性をかんじます。

今日で、1学期が終了しました。お子さんの成長については、ご家庭でもご確認いただき、次のエネルギーにさせていただけるとありがたいです。9月1日に会えることを楽しみにしています。

夏休みに入り、お子さんと話す時間も増えると思います。また、夏休みが終わりに近づくと不安を感じたり、SOSを発信したりすることがあります。そのような時は、遠慮なく学校にご連絡ください。また、以下のような相談機関もあります。ご活用ください。

佐倉市教育センター	043-486-2400
子どもと親のサポートセンター	043-207-6028
子どもと親のサポートセンター相談専用ダイヤル	0120-415-446
ハラスメント相談窓口	070-1324-2294